

腸管出血性大腸菌感染症にご注意！！

(O-157 など)

★流行時期

例年 7～9月夏季に発症数が増加します

★感染経路

汚染された飲食物を介しての経口感染

汚染した手すり、ドアノブ、便座、テーブル等触れることによる接触感染

★潜伏期間

2日～14日（平均3日～5日）

★主な症状

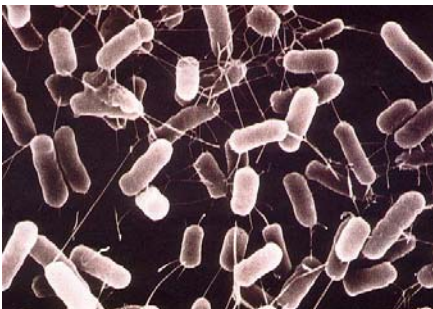
下痢や腹痛、水様便、血便、又は重症な場合は合併症を引き起こし、死に至る場合があります

★予防方法

感染力が大変強く、少ない菌量でも感染が引き起こされるのが特徴です

下記に予防方法をしっかりと行いましょう

- ① 肉類を生で食べることは控え、よく加熱する（中心部 75 度、1 分以上）
- ② 生肉を扱った後は手洗い、手指消毒をしてから他の食品を扱うようにする
- ③ 生肉に触れた調理器具は良く洗い、熱湯や次亜塩素酸ナトリウム（0.02%）、消毒エタノールで消毒する
- ④ 調理前、排便後はきちんと手洗い・手指消毒する。
- ⑤ トイレ内、特に水洗レバーや便座、ドアノブなどは消毒用エタノールなどでこまめに消毒する



学生部 2017.10.2
保健管理室

※大阪府ホームページ参照